









未だ原因は不明

政府と研究機関は
究明に急いでおり

わかって
どうする

結局戻すのは
こつちの仕事
だつっーの



数年前突如
生え始めた
草木により

都心の機能は
依然麻痺状態

車なんぞ
捨てちまえ

そしたら
楽になる



何してる…



ん？



名前...

無い



尻



えっと...
名前は?



無い…



何も



家族とか…
家はどこだ？



わ



俺から目を
離すな

こいつ
ちび



待って...

可愛い

がんばれー!
お父さんについで

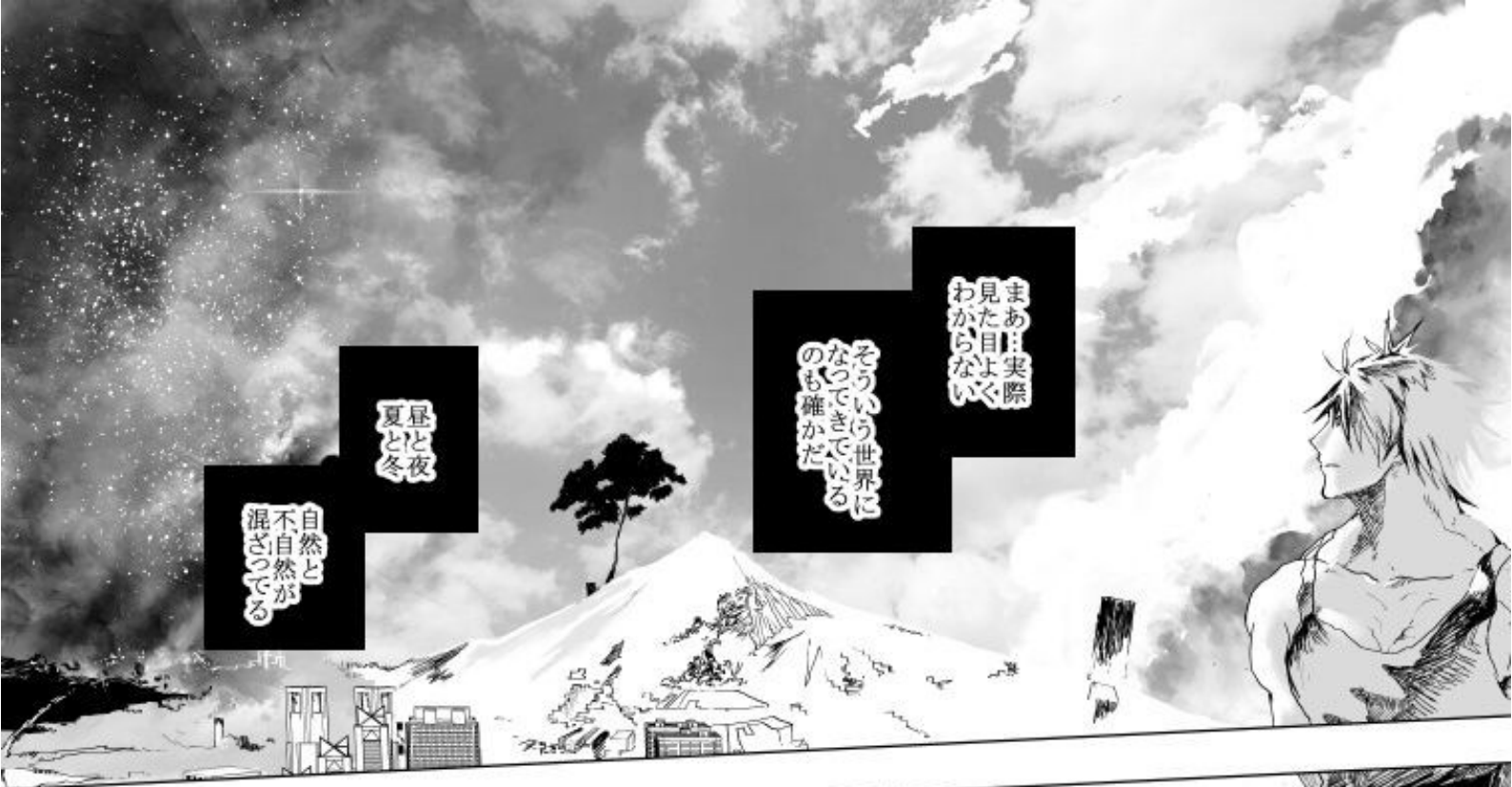
親子
じゃねえ

薬
ムラ

こんな子供が
居る様な
歳じゃない

ううう...





まあ実際
見た目よく
わからない

そのいう世界に
なつてきている
のも確かだ

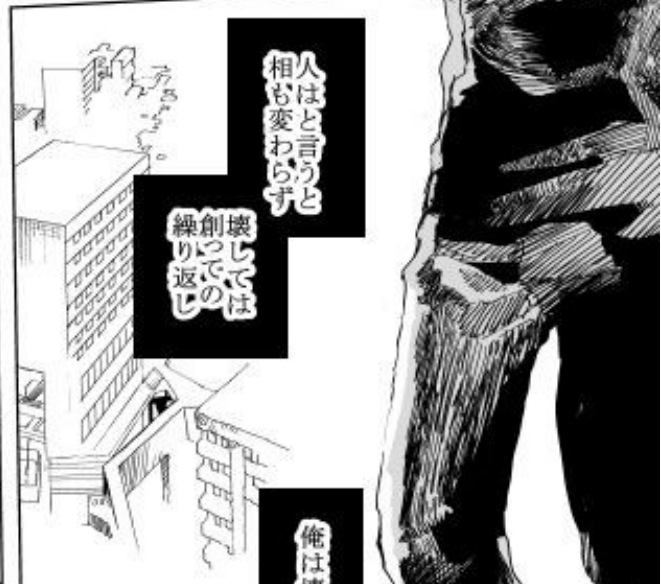
昼と夜
夏と冬

自然と
不自然が
混ざつてる



誰も見ぢやない

この景色の様に

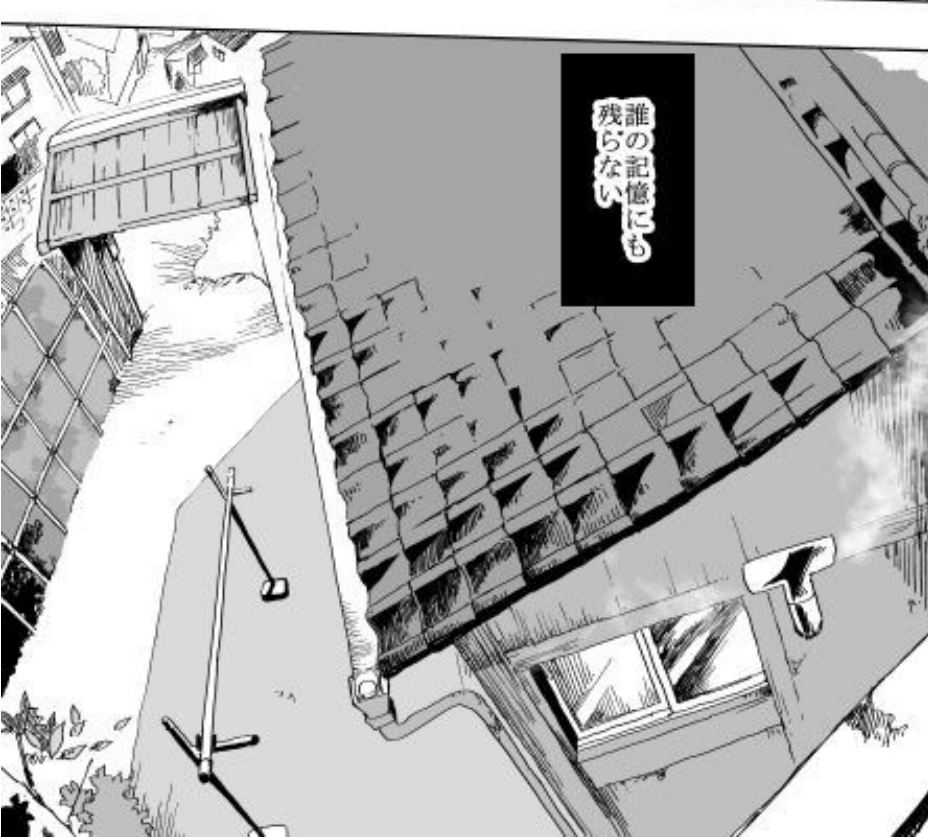


人はと言つと
相も変わらず

壊しては
創つての
繰り返し

俺は壊す側

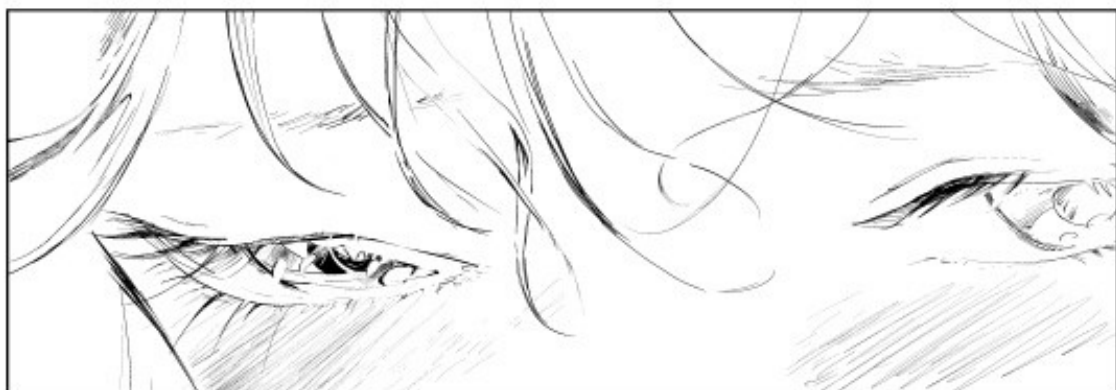
いつか
ついでに
決して
無いは



誰の記憶にも
残らない

陰





だから？…僕
何も無いけど
お世話になる
お返しに…！！

僕のこと……
好きにして……
もらって……



何も無い
だあ？

おいおいおい
俺は確かに
やしよもない
やつだが



毛も生えてねー
ちんちくりんに
慰められるほど
腐つてもいねえ

さっき言ったろ
俺を見てろって

それとも何だその
まつ毛が邪魔かい
でけー目だなオイ



無く無い

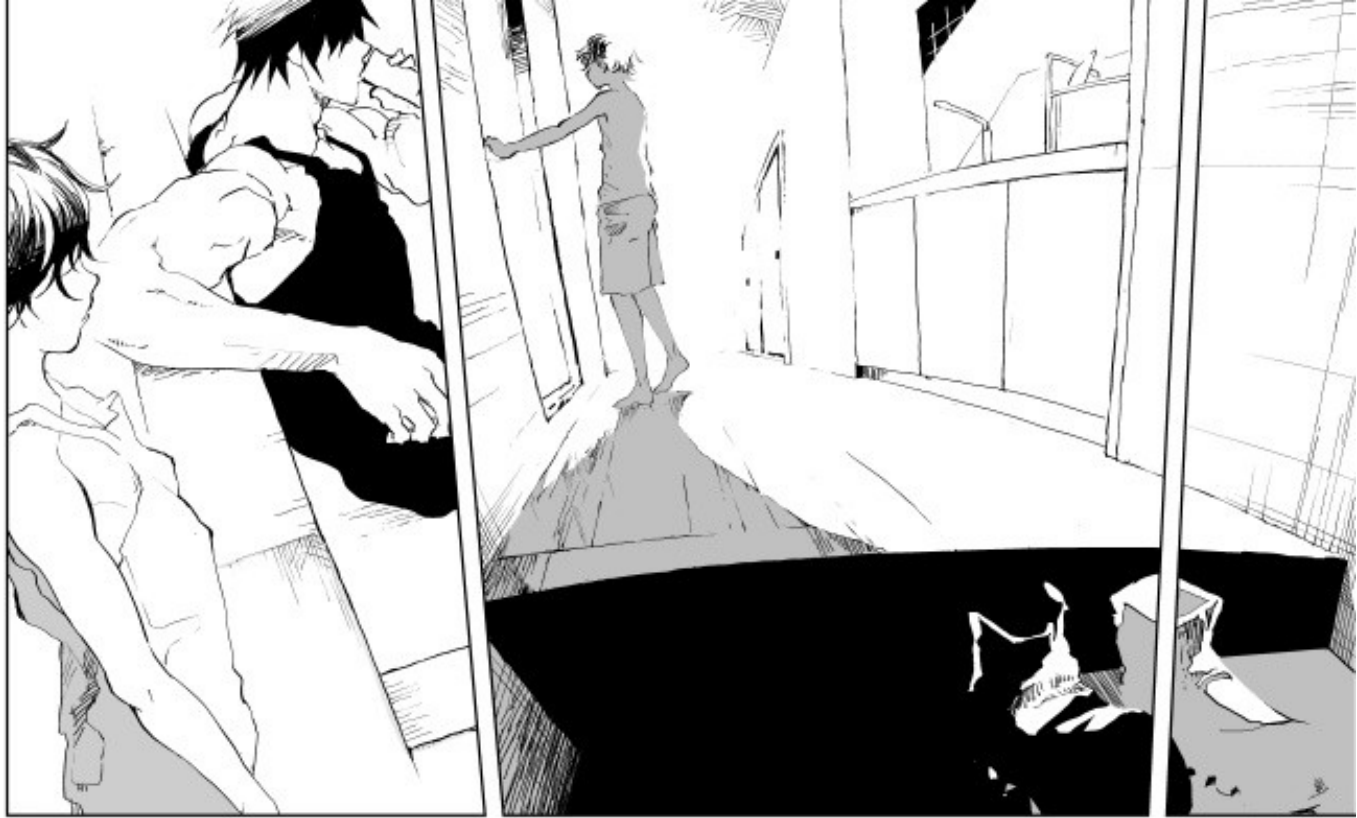


俺が居る



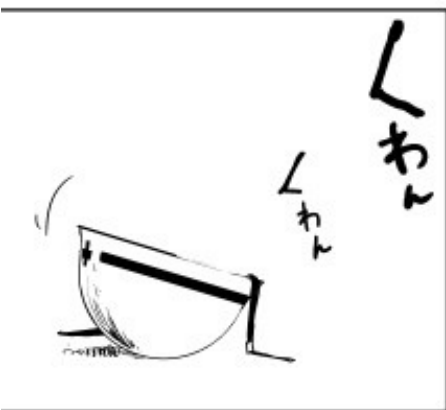


















わしゃ
わしゃ
しかし一人で…
…ん？



そうか…



ありがたいよ
気持ち良いよ

優しいな



笹…



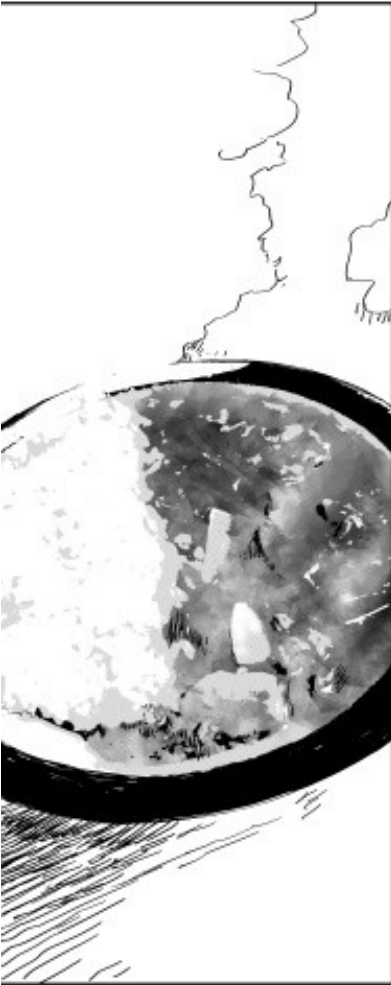
いつまでも
お前じゃ
なんだしな
そうだな…
笹…川…

優しい…

笹川…
優…

さきがわ
ゆう
笹川 優だ





また住める
日が来た時
のために

電気ガス水道
諸々残して
らしいけどな



ここら辺は
人が離れて
住んでいい
家も多い

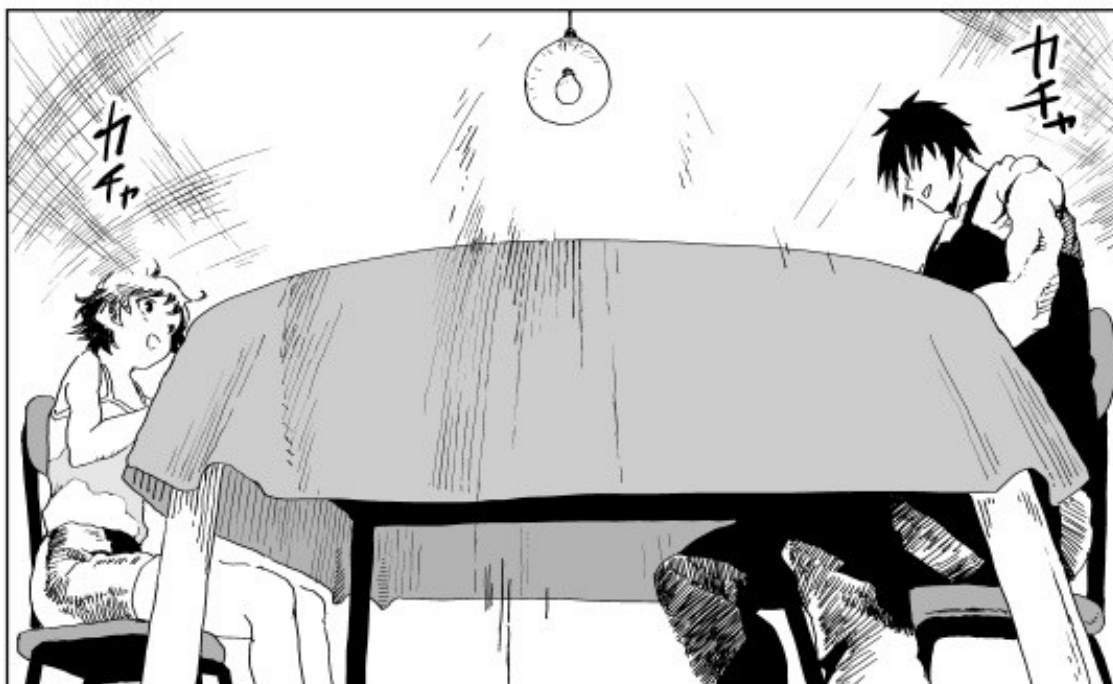


壊すことすら
せすに捨て
おかれた所だ



いただきます



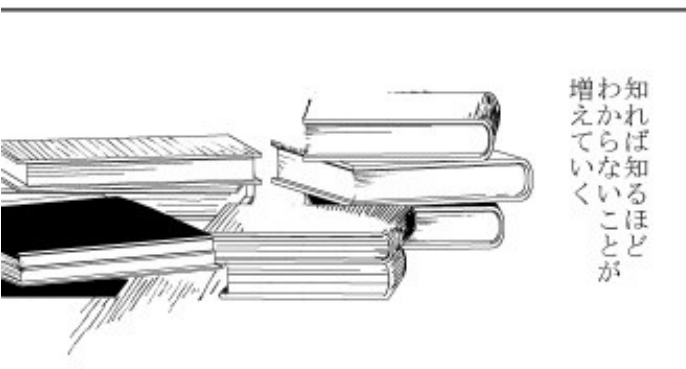




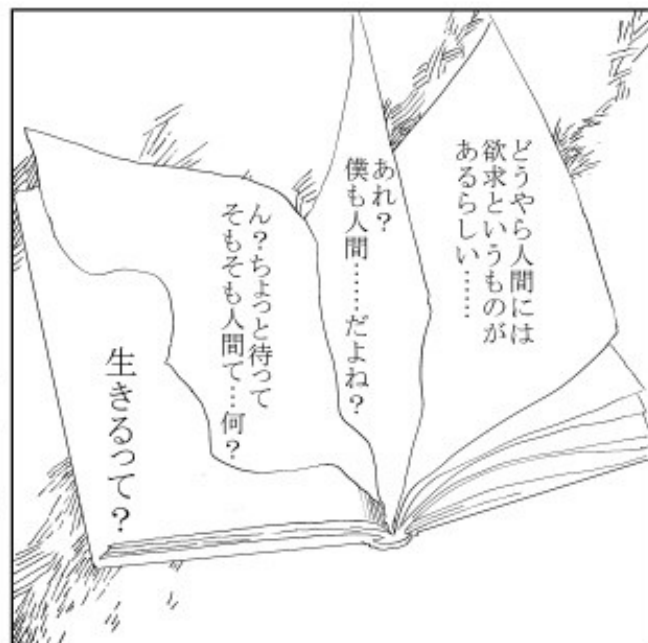




欲…



知れば知るほど
わからないことが
増えていく



どうやら人間には
欲求というものが
あるらしい……

あれ？
僕も人間……だよな？

ん？ちよつと待つて
そもそも人間て…何？

生きるって？



小さく…
生きる

小生





最近の月が
綺麗だな！





えっちしたい









俺は嫌いだ



どこでそんなこと
覚えてきやがった

ませがきめ



……寝よ











ん
??



焦げる……
壊れる匂い……

キスは
もつと甘くて……
おいしいって
本で読んだのに



そりゃあ
創作だな

残念だが俺は
壊すことしか
能が無いんだ

気持ち良い
ことをすると
壊しちゃうんだよ









よいしょ

ぐおお!!

カッ



カッ

ん



あははは
あははは

ぐおっ!
あははは

もうこれっきり
だからな
こういうのは

えー!
何だよ

何でもだ

とはいったものの
それ以来……





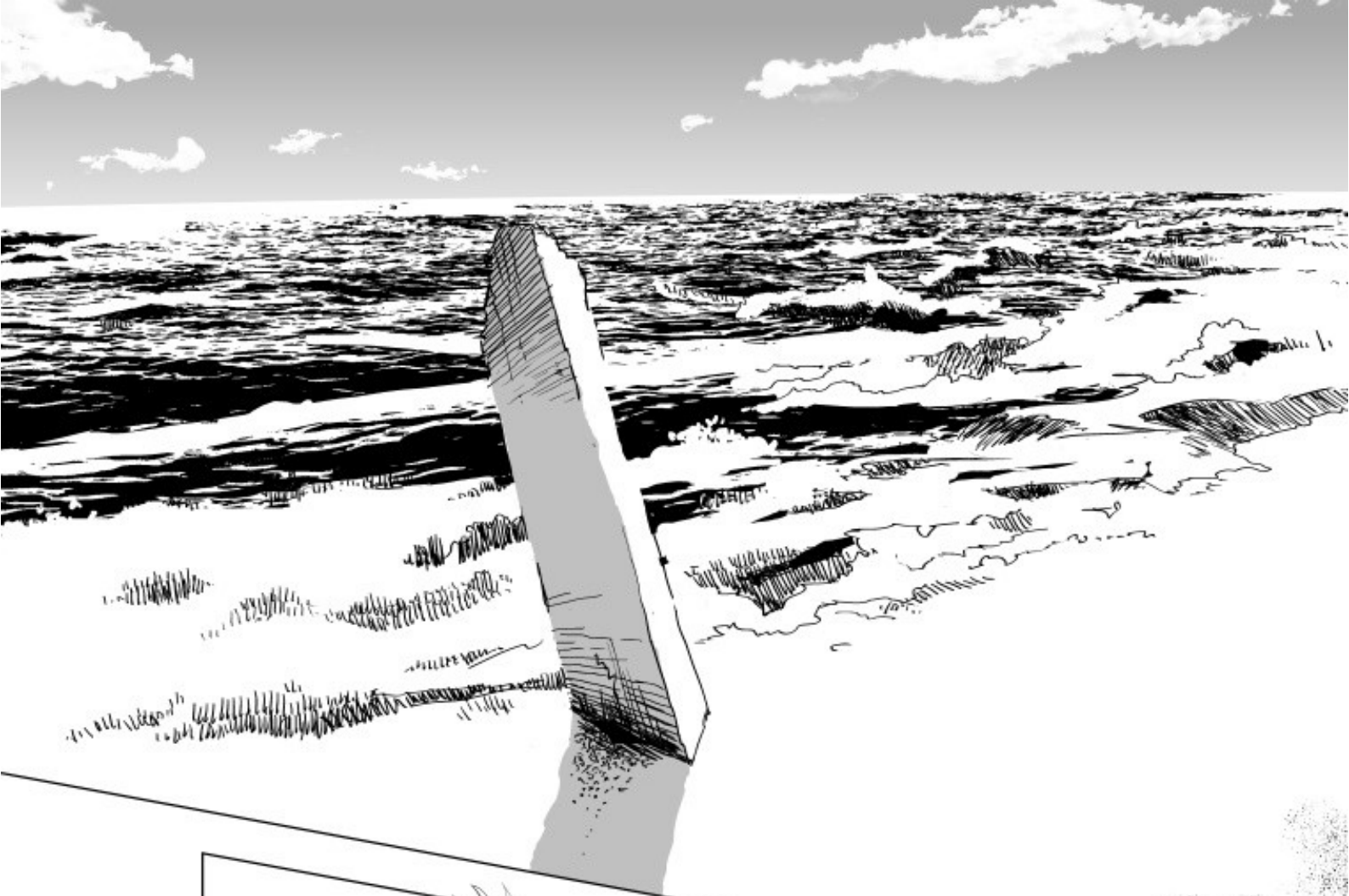






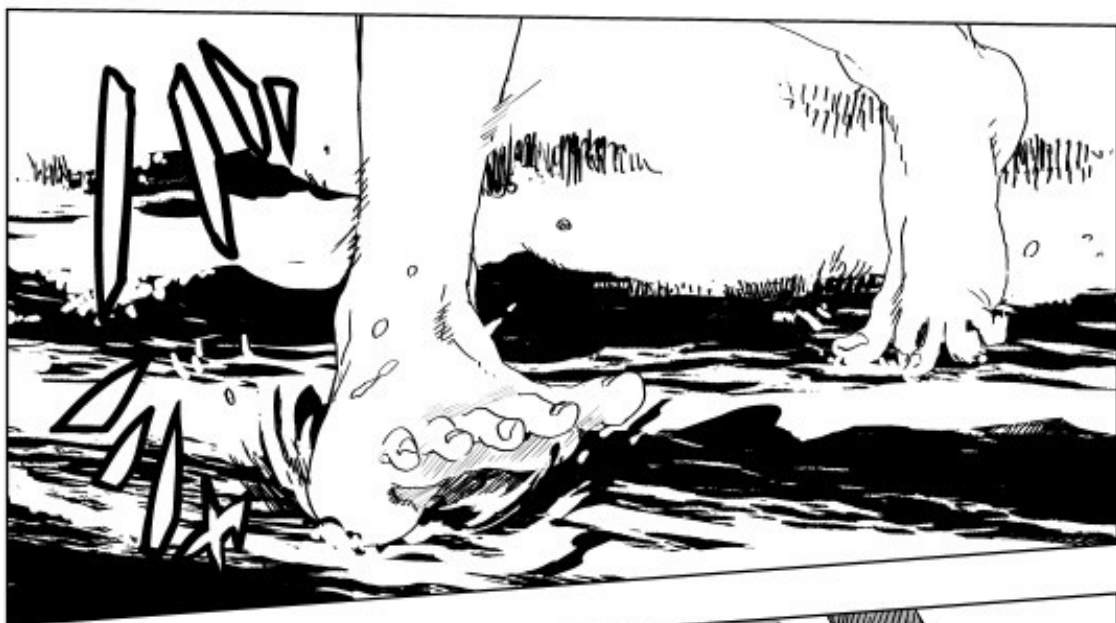
これがイソ?

わあ



母なる海
つつてな

命の匂いが
するだろ







愛つてそういう
ものじゃない？



じゃあするか